

連載第 98 回 横浜市議員 たけのうち猛

■ 関東大震災から 100 年

～災害から市民の命と暮らしを守る対策に全力！

近年の風水害の激甚化に加え、再び大震災の危険が切迫する中、公明党は「防災・減災・復興を政治と社会の主流に」と掲げ、「地域の防災力強化」に力を注いでいます。

① 金沢臨海部の復興、福浦岸壁の強靱化

令和元年の台風 15 号による高波で甚大な被害を受けた臨海部企業の復興支援に奔走し、国県市による迅速な財政支援を実現。また、強靱化された福浦岸壁を海釣りのできる遊歩道として開放することを提案し、金沢水際線緑地として再生しました。

赤羽国交相(当時)とともに、
横浜港の被災状況を視察。
(2019年9月12日) ▶



横浜市議員

たけのうち猛

<ご相談・ご連絡先>

公明党金沢支部事務所：
金沢区富岡西 3-38-1-101
TEL:080-9804-9782
FAX:045-345-4345

✉info@takenouchi-takeshi.com

② 学校ブロック塀の安全対策を完了

平成 30 年 6 月の大阪北部地震で学校ブロック塀が倒壊し児童が犠牲になったことを受け、全ての小中学校ブロック塀を軽量なフェンスに置き換える対策を推進。引き続き、通学路などの安全対策を推進しています。

③ 避難所となる地域防災拠点を充実

学校体育館へのエアコン・冷風機の設置を提案し、金沢区内ではこれまで西富岡小、大道小、金沢中、小田小、富岡中、釜利谷東小などへ設置を実現。引き続き全校への設置を推進しています。避難所におけるエコノミー症候群防止へ段ボールベッドの導入、アレルギーに配慮した食料備蓄も実現しました。

その他にも・・・

- ・路面下空洞調査を推進
- ・土のうステーションの設置促進
- ・風水害の激甚化に対応したハザードマップの更新と全戸配布
- ・感震ブレーカーの設置促進
- ・消防団の環境充実と処遇改善を推進
- ・空家条例、ごみ屋敷条例を制定
- ・侍従川の川底を浚渫
- ・雨水調整池の草刈り・浚渫を実施
- ・宮川の氾濫対策・待橋の拡幅を推進